

令和元年度第 2 回知床世界自然遺産地域科学委員会報告

日時 令和 2 年 2 月 20 日 (木) 14:00~17:00

場所 北海道立道民活動センター かでの 2・7 520 研修室

議事概要

(1) 各ワーキンググループ等の検討状況等について

①エゾシカ・ヒグマワーキンググループ

- ・令和元年度エゾシカ・ヒグマワーキンググループの開催概要
- ・今後の予定

②海域ワーキンググループ

- ・海域ワーキンググループ会合の開催状況
- ・平成 30 年(2018 年)度長期モニタリング項目評価調書(案)及び資料集(案)について
- ・平成 30 年(2018 年)度海域管理計画定期報告書について
- ・長期モニタリング計画の評価項目の評価について
- ・第 43 回世界遺産委員会決議に対する保全状況報告について
- ・今後の予定

③河川工作物アドバイザー会議

- ・令和元年度(2019 年度)河川工作物アドバイザー会議の開催状況
- ・第 43 回世界遺産委員会決議の対応について
- ・長期モニタリングについて
- ・ルシャ川の取組について
- ・第 2 次検討ダムについて

④適正利用・エコツーリズムワーキンググループ

- ・知床エコツーリズム戦略の運用状況
(赤岩地区昆布ツアー、外国人旅行者向け情報発信の強化、厳冬期の知床五湖エコツアー事業)
- ・個別地域における取り組み状況
(知床五湖における利用調整地区制度の運用、カムイワッカ地区におけるマイカー規制、ウトロ海域におけるケイマフリをシンボルとした協働)
- ・その他適正利用に関する取り組み状況
(ヒグマ対策連絡会議、知床国立公園利用のあり方に関する行政間会議、野生動物観光推進事業)
- ・適正利用・エコツーリズム WG での議論
(長期モニタリング、アドベンチャーツーリズムについて)

(2) 第 43 回世界遺産委員会決議の対応について

(3) 長期モニタリングについて

(4) その他

- ・令和元年度日露隣接地域における生態系保全協力に関するプログラム事業について